

令和7年度統合防空ミサイル防衛実弾射撃訓練の実施について

航空自衛隊は、10月13日から11月15日までの間、米国において高射部隊による実弾射撃訓練を行いました。

本訓練では、陸上自衛隊の高射特科部隊との協同射撃を行うとともに、米陸軍と共同射撃を行い、日米共同対処能力を向上させました。

また、小型ドローン対処訓練を行ったほか、多国間での統合防空ミサイル防衛（IAMD）に関する専門家交流を行い、各国参加者との相互理解を深化させました。

航空自衛隊は、引き続き高射部隊の戦術技量を向上させるとともに、同盟国・同志国との連携を強化してまいります。

